

令和2年度 第4回 経営協議会（書面審議）議事要旨

開催日 令和2年10月16日（金）～10月23日（金）（メールによる書面審議）
回答者 28名
（学外） 浅香，安藤，五十嵐，石山，河合，杉江，土屋，長澤，樋口，町田，松沢，
松谷，真弓，三浦，横山 各委員
（学内） 寶金，山口，横田，吉見，増田，山本，菅原，村田，梅原，池田，瀬戸口，
秋田，中垣，各委員

議 事

【 議 題 】

1 役員の退職手当の支給について

書面審議の結果，可とする者28名，否とする者0名で了承された。

なお，委員から以下の意見があった。

- ・「国立大学法人としての文科省からの評定」と「担当課題の成果からの評定」を分けて考えては如何か。
- ・評定する際は客観性が大切なので，「年度の目標設定(コミットメント)実現度を評定とリンクさせる新評価システム」策定も大切と考える。
- ・退任される理事副学長の3名の方達は総長不在という大変な状況の中大学をしっかり守った事を考慮し評価をプラスしてあげるべきだと考える。
- ・原則論を言えば，早い段階に経営協議会で議論して決めたほうが良いとも言えるが，国立大学法人評価委員会の評価結果も大きな要素であるので，その結果の確定後に，経営協議会において増減額を決定し，退職手当を支給というのは妥当だと考える。
- ・暫定の業績勘案率の決定は，特殊性の有無にかかわらず，通常，北大の業績評価決定前に行われることから，予め暫定の業績勘案率を「0.5」に設定しておくべきではないか。

【 報告事項 】

1 理事・副学長の任命について

書面による報告があった。

なお，委員から以下の意見があった。

- ・今回は十分な引継ぎ時間を取り，各副学長の責任と権限を明確にして経営されることを期待する。
- ・女性の理事がないというのは，北海道大学において女性の教授数が少なく，候補者を見つけるのは難しいのかもしれないが，将来的にはジェンダーの多様性の意義も考えて欲しい。
- ・新任の理事，副学長他の執行部が一致協力して北大が抱える課題に取り組んでいただくと共に，情報の透明性，適時開示を前進させ，大学内教職員の理解と共感を得るよう努めていただきたい。

- ・北大のイメージと威信を回復するため、透明な大学運営と学外への積極的な発信を期待する。

(以 上)